

分割出願の戦略的活用：権利行使を見据えた「4つの役割」と成功の鍵

権利行使（訴訟）での存在感が高まる分割出願。その統計的動向と、事業目的に応じた戦略的な権利設計の重要性を解説。

統計的トレンド：権利行使における分割出願の優位性

12.4%

出願全体の12.4%が
分割出願（2023年）



2021年以降、
件数・割合ともに増加傾向に
あります。



侵害認容割合
（分割出願）

侵害認容割合
（通常出願）

通常出願の30.8%に対し、戦
略的に磨き上げた分割出願が
訴訟で強い傾向。



価値の本質は「**選択肢の確保**」にあり
競争や市場の変化に応じて、権利範囲や時期を
調整できる点が最大の利点。

戦略的活用の4つの役割と成功の条件



競合製品
への適合

特定の限定を外
し、対象製品を
確実に捉える。



有効性の
確保

範囲を広げる部
分と、無効理由を
避けるための限定
を組み合わせる。



侵害立証の
容易化

製品の外観から
確認しやすい構
成に着目して権
利化する。



権利化時期
の調整

早期審査や審査
中止運用を活用
し、必要なタイミ
ングで成立させる。



「**当初の開示**」が戦略の限界を決める
分割出願の質は、最初の明細書にどれだけ選択肢
が記載されているかに依存します。